

令和4年度 大分県自動車・同附属品製造業、
船舶製造・修理業, 舶用機関製造業
最低賃金専門部会

- 1 日時 令和4年10月6日(木) 午後1時30分～
- 2 場所 大分第2ソフィアプラザビル 4階会議室
(大分市東春日町17番20号)
- 3 出席委員(敬称略)
公益代表: 荒井 公美、清水 立茂、松隈 久昭
労働者代表: 多々良 哲也、三石 信義、宮城 英伸
使用者代表: 小野 賢治、坂本 喜久雄、山本 勇一
- 4 大分労働局: 中井 労働基準部長、金田 賃金室長、田口 賃金室長補佐
- 5 議 題
(1) 金額審議について
(2) その他
- 6 議事要旨
(1) 金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議要旨
労働側委員からは、自動車産業については、我が国の基幹産業として雇用を確保するために優位性を維持しなければならないこと、また、造船業界は、約2年分の受注を確保し中長期的に好調ではあるが、造船業界から鉄鋼業界等、他産業への人材流出が懸念されるため、より魅力ある産業とする必要があることなどの説明があり、昨年の対地賃率等を目安とした金額提示があった。
使側委員からは、自動車産業は原材料の値上がりや、社会保険料や福利厚生費などの事業主負担が増しており、需要はあるが部品が入っ

てこないため以前の 8 割程度の生産量であること、また、造船業については、鋼材等の材料費が 2~3 割程度値上がりしており、経営を直撃していること、などの説明があり、春闘における連合大分の賃上げ率を目安とした金額提示があった。

ウ 協議結果

意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月19日(水)午後1時30分から開催することとなった。